

koshu wine

特集

甲州ワイン に託す夢



甲州市広報 Public Relations No.129

2016

くしゅう 7

「甲州ワインが大好き」と勝沼ぶどうの丘を訪れた女性観光客。200種類・約4万本を貯蔵している地下ワインカーヴで、贅沢な気分を味わっていました。

豊かな自然 歴史と文化に彩られた 果樹園交流のまち 甲州市

女性醸造家



田辺市長

koshu wine

特集

甲州ワイン に託す夢

市では、市民生活の身近な課題や将来像について市長と語り合う「市政出前懇談会」を開催しています。今回、市内で活躍する女性醸造家4名をゲストに、日本ワイン醸造のルーツを知ることのできる近代産業遺産「宮光園」で甲州ワインに託す夢を語り合いました。



(左から、齋藤まゆさん、土屋由香里さん、田辺市長、鷹野ひろ子さん、土橋敏子さん)

Topic 1

これまでの10年一。

甲州市が誕生して10年が経ち、本市のワイン産業は大きな発展と成長を遂げてきました。世代交代、ぶどう栽培への意識変化、ワインツーリズム、行政支援の活発化など「これまでのワイン事情」を語ってもらいました。

市長 この10年、甲州市のワイン産業は、ワイナリーや農家の皆さまをはじめ、ワインに携わる皆さま方の英知と努力により、大きな成長と発展を遂げたと思っています。一方で、今だからこそ思い出すのが、海外プロモーション活動の最初の年ですね。平成21年度から実施をしています。イギリスでの初年度は、日本ワインの関心がほとんどありませんでした。しかし、その後も積極的に活動した成果と世界的な和食ブームを追い風に、一昨年には大使館の公邸に招待されたことで、現地ジャーナリストからの評価が上がり、甲州ワインの認知度が一歩でも前進できたことに、すごく嬉しさを感じました。その時、「甲州ワインの元年」という熱い思いが、初めて胸に込み上げてきました。

齋藤 K O J * での、ワインの輸出状態はどうですか？

土橋 白百合醸造は輸出しています。元々の狙いは、世界レベルの市場だったんですよ。世界で評価されることは、国内での評価にも繋がると考えます。

市長 そうであってほしいですね。各ワイナリーは、本当に素晴らしいワインを造っている。海外での評価を、首都圏や関西など、国内での販路拡大に生かしてほしい。

齋藤 プロモーションの効果としてこれまでより、甲州ワインを求めて、各ワイナリーへ来られる方は増えていますよね。

市長 着実に増えています。プロモーション活動によって、ワイナリーだけではなく、サクラノボ、モモ、ブドウなどの観光農園にも外国人観光客も含め、多くの皆さんが訪れています。



鷹野ひろ子さん

(フジッコワイナリー株式会社)

山梨大学工学部発酵生産学科でワインの知識を学び、卒業後、フジッコワイナリーへ入社。その後、ワインスクールや勝沼醸造での勤務を経て、現在、フジッコワイナリーの醸造責任者として活躍中。

土橋敏子さん

(白百合醸造株式会社)

愛知県出身。全国展開するホテルのレストランに勤務しているとき、ワインの魅力に惹かれ、30歳でカナダへ渡り、ワインの栽培学を取得。現在は、白百合醸造の醸造チームのリーダーとして活躍中。



土屋由香里さん

(機山洋酒工業株式会社)

兵庫県出身。大阪大学で醸酵工学を学び、卒業後、日本酒醸造メーカーへ就職。国税庁醸造試験所で研修。結婚後オーストラリアのアデレード大学大学院でワイン醸造とブドウ栽培を学ぶ。現在機山洋酒でワイン造りや販売に携わっている。

斎藤まゆさん

(kisvin(キスヴィン)ワイナリー)

早稲田大学在学中、フランスでのぶどう栽培を契機に、ワインづくりへの意欲を持つ。その後、アメリカの州立大学で醸造学を修め、現在、キスヴィンワイナリーの醸造責任者として活躍中。



①② 海外プロモーション活動 (2014年 イギリス)
③ ワインツーリズム

鷹野 フジッコ(株)は、関西を拠点にした食品会社で、ワイナリー設立当初は、観光バスがメインでしたが、地域密着という姿勢、さらには、行政のタイアップによるアプローチなどもあり、今では、年間を通じ多くの皆さんが来てくださいます。

市長 しかし、一方では、プロモーション活動はワイナリーのためにやっているのでは、と言われることがあります。でも、私は、美味しいワインを飲みに来て、美味しいものを食べに来る、それが滞在型となり、大きな経済効果として期待できると思っています。市商工会や観光協会など、本当に皆さんが一丸となって取り組むことにより、地域経済の活性化につながると信じています。

土屋 そのひとつが、ワインツーリズムだと思います。今では、多くの観光関係の方からも喜ばしい声が届きますが、最初の頃は、「何でワイナリーのイベントのために協力しなくてはいけないのか」という声も聞かれました。ワインリゾート構想も同じですが、もう一歩踏み込んだ意識改革が必要なのかもしれません。ワイナリーも地域と協力し共に歩んでいかなければ継続しないと思います。

市長 これまでの10年、ワイン産業を支えてきたのは、ワインに携わる皆さんの頑張りだと思えます。皆さんの話は情熱に満ち溢れていますね。

土屋 一番大きく変わったのは、地元の人たちが広くワインを飲んでくださるようになったことです。甲州市はもとより県内の方たちが地元のワインを大切にしてくださるようになりました。これは大変うれしいことで、市やメディアを通じて継続的なアピールの結果だと感謝しています。

市長 それは実感しています。甲州ワインで乾杯とは言っていますが、市民の皆さまが甲州ワインを楽しむ姿は、本当にうれしく思います。

※1 KOJ (Koshu of Japan) は、日本のワイン生産地である山梨県内のワイン生産者15社と甲州市商工会、甲府商工会議所、山梨県ワイン酒造協同組合によって設立された団体で2010年から世界のワインマーケットの中心地であるイギリスで、プロモーション活動を行っている。



Topic 2

これからの10年—

日本ワインの先駆けともいえる甲州市のワイン産業。マスメディアやワインショップなどで日本ワインの露出は高まっているが、次の10年、持続可能な市場はもとより、ブドウ栽培も含め、どのような方策が必要なのか語っていただきました。

鷹野

私自身がとても感じていることですが、次の10年に向けて、ワインをしっかりと定着させるために、まず大切なことは、美味しいワインを造ることだと思います。お客さんにとって正直ですよね。ちよつと味覚が落ちると急激に販売量が減る。逆に、今年は美味しいワインが出来たと思うと、販売量が増える。だからこそ、観光客もそうですが、すべての皆さんに期待される、本当に美味しいワインを山梨の各メーカーと共に造っていきたくと思っています。

土屋

ワインツーリズムなどのイベントももちろんですが、最近ではワインナリーだけでなく地域のレストランやカフェ、ワインショップなどがテレビや雑誌に取り上げられることが増えてきました。

土橋

私も同感ですね。10年前とは比べ物にならないほど、甲州の白ワインの認知度は高まったと感じています。

私たちワインナリーもそうですが、親しみある接客、さらには繊細なワインを作ることで、新しいファンが増え、もっとリピーターが増えると思います。

地域の魅力×おいしいワイン

斎藤

私が描く次の10年として、「甲州市で作られた、甲州市のワインを世界中で飲まれるようにしたい」と願いを込めて仕事をしています。そして、社長の荻原康弘は、醸造家というポジシヨンの環境を、とても大切にしてくれています。農家の皆さん、地域の皆さんへの感謝の想いが次の10年に繋がると思います。

土橋

社長のスタンスというか、溢れる情熱は、美味しいワインづくりにもつながりますね。

土屋

たぶんワイン造りへの情熱は男性も女性も同じですよ。

鷹野

情熱といったら、フジッコの創設者の山岸八郎が唱えたものですが、「山梨フルーツ王国」という感覚は、今の社風にも継承されています。

それは、山梨の果実を最大限に生かすという意味があり、海外から見た日本のイメージ、県外から見た山梨のイメージは、とても大切なことで、自社では、ブドウのほかにも、モモ、キウイフルーツを原材料にしたワインも作っています。地域の特色、魅力を引き出すことは、新たに甲州市はもとより、山梨県のファンが増えるとも思っています。

市長

やはり、甲州市に住む私たちだからこそ、ワインもそうですが、地域の魅力を最大限に活かした取り組みが、次の10年に向けた、甲州市、山梨県のワイン事情に繋がっていくと感じています。





Topic 3

ワインリゾート構想

世界農業遺産一。

現在、峡東3市と山梨県が連携して、「滞在型」をテーマに、食や温泉、地域文化に触れながら産地を楽しむワインリゾート構想を推進しています。また、世界農業遺産の取り組みなど、甲州市はもとより、山梨県のワイン産業の将来を見据えた焦点を語っていただきました。

斎藤

ワインリゾートという大きな構想も良いですが、市内各所で、ワインの扱い方を教えてくれる方を増やすなど、産地に来てくれた皆さんへの、最高のおもてなしができないかなって思いがあります。

市長

確かに、ソムリエがいることで、ワインを楽しむことに深みが増えますよね。

斎藤

その教育プログラムを作るといいと思います。料理人もそうですが、サーブの方々も含めた教育プログラムって、ワイン産地だからこそ出来ると思います。

土橋

飲食店でマンスリー的なワインの提供なんかも面白いのかも。これだけワイナリーが点在するからこそ、今日はこのワイナリーのワイン、来週はあそこのワイン、なんてのは、お客さんの興味を持たず意味でも面白いと思います。

斎藤

世界農業遺産と意味が違うかも知れませんが、今、私たちが植えたブドウの木が、孫の世代まで生かされる。しっかりと畑を整備して、次世代まで継承することが、私たちの持つ農業遺産だとも思っています。

土屋

娘の同級生には農業に汗する祖父母や両親の姿をカッコいいと感じ、将来農家になりたいと考える子もいます。

「世界農業遺産」などの形で世間に認められることで地域や農業に誇りを感じられれば素晴らしい財産になると思います。

農の継承×ワインの秘める可能性

土橋

ワインに合う料理ですが、マリアージュコンテストを開催してみると、甲州市に來なければ味わえないメニューが出来るかと思っています。

鷹野

農家の高齢化問題ですが、自社では、契約農家さんの負担を減らすため、収穫時は、細かく各畑への集荷をしています。農家の方の悩みは山積で、農家の皆さんとのコミュニケーションこそが、農家の高齢化や遊休農地の解決策を生み出し、ひいては世界農業遺産認定の一助になると思います。

市長

耕作放棄地も課題です。次の耕作者にスムーズに引き継いでいくことが大切です。市でも、荒廃農地が周辺の農家に多大な影響を与えることのないよう、対策を進めていきます。

鷹野

ワイナリー自身も考える時だと思っています。ブドウの売買条件、または支払など、とても大事なことで、そついつき細かいことこそが、農家さんとの強い信頼関係を築き上げる礎だと思っています。

市長

今回は、本当に素晴らしい懇談でした。女性醸造家の熱い眼差しや女性のパワーを感じました。行政としても、地域の活性化には、ワイン産業の発展は欠かせません。甲州市のワインに携わるすべての皆さんと協力し合い、世界に誇れる甲州ワイン産業を盛り上げていきたいですね。皆さん、お忙しいところ、ありがとうございました。



市長の市政報告（要約・抜粋）

甲州市議会6月定例会



平成28年甲州市議会6月定例会は、6月10日に開会され、本会議初日、田辺市長が主要事業の進捗状況など市政の概要を述べました。

◆甲州市総合計画・組織機構

第1次総合計画につきましては、平成29年度をもって10年の計画期間が終了いたします。

既に策定してあります「甲州市まちひと・しごと創生総合戦略」や「甲州市人口ビジョン」ほか各種既存計画との整合性を図りながら、平成30年度から平成39年度を計画期間とした、第2次甲州市総合計画を今年度から2年をかけて策定してまいります。

また、組織機構につきましては、総合計画に掲げる政策・施策・事務事業体系の構築に向けた組織づくりを視点として、効率的な行政運営を行えるよう体制の見直しを適宜実施してまいります。

しかしながら、平成29年7月に予定されているマイナンバーの地方公共団体間における連携利用の開始、また、平成30年度の国民健康保険の県域一元化を踏まえた機構改革が平成29年4月にも必要になるなど、新たな行政事務や多様化する行政需要、社会情勢の変化に即応し、限られた人員と財源の中、より効率的且つ効果的な組織機構の見直しを図ってまいります。

◆ふるさと納税

貴重な財源収入となる「ふるさと納税」につきましては、昨年度も全国の皆様から多くのご寄附をいただき、件数で4万5千件、金額で7億9千万円と、県内市町村ではトップであり、昨年度上半期では全国自治体の14位に入っております。

今年度においても他の自治体との競合もありますが、ふるさと納税の取り組みの更なる充実と拡大を図り、地元特産品のPRや販売促進・観光誘致につなげ、地域の活性化を目指してまいります。

◆介護保険事業

団塊の世代が全て75歳以上の後期高齢者に入る2025年に向け、国からは新たな介護保険制度への取り組みの指示がなされているところであります。市ではこの制度改正に対応するため、要支援1・2の方への訪問介護等、一部のサービスを「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行する準備を進めております。

日常生活で軽度の支援が必要な高齢者が、申請後早くにサービスを受けられるよう、今年度中には体制を整え、事業を実施する予定としております。

◆子育て支援

子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い、今年度から、仕事と子育ての両立を保育の分野から支援し、子育て世帯の経済的負担を軽減するための条例改正案を今議会に提出させていただきます。

また、市役所1階ロビーに設置しておりますファミリースポーツセンターを旧商工会コーナーに移し、現在のキッズスペースと一体化させるように一部改修いたします。このことにより、庁舎ロビーにおける乳幼児の見守りが充実し、安心感をもって子育て親子にご利用いただけるものと考えております。



玉宮と大藤地域を結ぶ道路 (県営畑地帯総合整備事業) が完成

平成18年度から県営畑地帯総合整備事業に着手し、長年の念願でありました玉宮地域と大藤地域を結ぶ道路建設も、4月15日に全線供用開始となりました。この農道の供用開始に伴い、沿線で進めております基盤整備の充実も図られ、農業振興をはじめ生活環境及び観光振興にも期待できます。

◆生活困窮者自立支援事業

昨年4月からスタートいたしました生活困窮者自立支援事業につきまして、今年度から、新たに生活保護世帯及び生活困窮者世帯の子どもに対する学習支援事業を始めております。

この事業は、対象となる子どもに対し、学習支援を行い、社会への自立を図り、貧困の連鎖を防ぐことを目的としており、現在、学習支援員を1名置き、各小中学校と連携をする中で、対象者に支援をしております。

◆産業振興

世界農業遺産認定に向けた取り組みにつきまして、9月中の農林水産省への提出に向けて、山梨大学等の研究機関の支援を得る中、申請書の作成を進めております。

今回、農林水産大臣が認定する「日本農業遺産制度」が新設されましたので、世界農業遺産の申請とダブルエントリーすることとしております。

申請書提出までの間、県及び峡東3市が連携して、さらなる市民意識の醸成と関連資産の調査研究に取り組みなど、あらゆる対策を講じて参りたいと考えております。

ブドウの輸出につきましては、「全国ブドウ産地協議会」事業として、昨年度に引き続きマレーシアへの輸出を進めるとともに、アジア、中東での市場調査の計画を、農林水産省へ事業提案を行ったところであります。

また、船便での輸出がコスト削減に

つながることから、冷蔵コンテナを活用した海上輸送の研究を進めることとしております。

商工振興につきましては、去る5月20日に創業支援事業計画が経済産業省の認定を受けましたので、市商工会と連携し、本計画に基づき創業支援事業を推進してまいります。

◆観光振興

「観光立市・甲州市」が果物の収穫シーズンを迎えるなか、観光協会や関係団体との連携により、首都圏を中心にあらゆる情報媒体も活用しながら、トップセールスをはじめ各種の誘客プロモーション活動を展開しているところであります。

なお、大田影トンネル遊歩道についてであります。昨年度に実施したトンネル健全度調査の結果、経年劣化により第3者被害の予防対策を講じる必要があるため、止むを得ず4月末から当分の間、閉鎖の措置をとらせていただきます。

現在、国の専門機関との協議や調査会社への聞き取りを行うなど情報を収集しており、今後の在り方について、最善の対策が講じられるよう検討してまいります。

◆景観形成（景観まちづくり）

景観計画の基本理念であります「果樹園と歴史・文化が織りなす魅力あふれる景観を守り育む」まちづくりに向け、景観計画による建築物等外装色の色彩基準をよりわかりやすいよう数値化し、設定したところであります。

また、景観形成重点地区の候補地である、ぶどうの丘周辺の勝沼ぶどう郷駅から見える景観を改善する事業として、青色の防風・防鳥ネットを「自然いろネット」への交換やガードレールの自然配慮色への塗りがえを実施しております。

今後本市固有の景観を守り、創り、育て、次世代に継承できるよう努めてまいります。

◆防災関連事業

災害時に第1次緊急輸送路となる大和町の国道20号の防災工事として、新笹子トンネルのルート決定、鶴瀬トンネルの迂回計画を策定しており、平成31年度着工を予定しております。

また、県事業として小田原市内砂防堰堤工事、大和地内急傾斜対策工事など6か所の工事を実施することとしてまいります。

今後、国、県と連携する中で、なお一層積極的に取り組んでまいります。

◆学校施設の整備

小学校施設の充実強化を図るため、塩山南小学校校北館の大規模改造工事を実施いたします。

また、平成26年度から実施してまいりました小・中学校普通教室のエアコン設置事業につきましては、今年度残る小学校5校に設置し、全て完了いたします。

学校施設は学習の場であるとともに、地域活動や地域防災の拠点となることから、今後も安全で快適な環境整備に努めてまいります。



WELCOME
THE CITY OF AMES DELEGATION

歓迎 エイムズ市訪問団



友好都市エイムズ市訪問団 甲州市の地域文化に触れる

5月31日から6日間、友好都市のアメリカ合衆国エイムズ市中学生訪問団が、甲州市を訪れました。大和自然学校ではほうとうづくり。塩山北中学校では、同年代の中学生と一緒に書道などを体験。また、放光寺では茶道を体験するなど、甲州市の地域文化や日本の伝統文化に触れた訪問団の皆さんは、ホストファミリーや多くの皆さんとの絆を深め、新たな交流の輪が広がりました。



ほうとうづくり (大和自然学校)



茶道体験 (放光寺)



書道体験 (塩山北中学校)



計164点が合格！ 甲州市ワイン品質審査会

6月13日と20日の両日、甲州市ワイン品質審査会を勝沼市民会館で行い、市内ワイナリーのべ28社から172点が出品され、審査が色調や香り、味わいなどを総合的に審査をしました。審査の結果、白ワイン77点、赤ワイン59点、ロゼワイン18点、スパークリングワイン10点が合格しました。合格したワインには推奨シールが貼られ、勝沼ぶどうの丘で販売されます。



水道週間！ 公民館等の無料点検

6月2日、甲州市と甲州市水道事業協会は、水道週間の一環として、災害時の避難場所となっている地区公民館等の水道設備無料点検を行いました。塩山西公民館長の志村さんは「ライフラインはとても大切。点検してもらえて助かります。」と協会の活動を喜んでいました。この日は、水道事業の理解促進を呼びかける啓発活動もJR塩山駅で行いました。

甲州市のお父さんありがとう 父の日に合わせ、市長訪問♪

塩山愛育園と赤尾保育園は、父の日に合わせて、田辺市長を訪問しました。園児たちは、「甲州市のお父さん、いつもありがとうございます。」とそれぞれに手作りの貼り絵を市長に手渡しました。「市長さんはどんな仕事をしているのですか？」と聞かれ、田辺市長は「皆さんが暮らしやすくなるように頑張っています。皆さんも元気に遊んで、楽しい保育園生活をおくってください」と感謝を伝えました。なお、プレゼントされた手作りの貼り絵は、市役所本庁舎政策秘書課前の通路に展示しています。



塩山愛育園（5月26日）



赤尾保育園（6月15日）

第63回甲州市かつぬまぶどうまつり 参加者大募集!

開催決定

10月1日

勝沼中央公園広場



■募集内容

◎護摩木積みボランティア

ぶどうまつりのメインである鳥居焼きの準備で、柏尾山の南斜面に護摩木を積み上げる作業です。小学校高学年の方から参加できます。軍手及び簡単な朝食を用意します。

【実施日】

9月18日(日)

午前7時30分～10時頃 ※小雨決行

【予備日】 9月25日(日)

※終了時間は、参加者の人数により前後します。

◎ステージイベント参加希望者

サークル・クラブ等で日ごろの成果を発揮する場として、ステージに出演したい方(団体)を募集します。

【実施日】

10月1日(土) ※ぶどうまつり

【注意事項】

①希望者多数の場合は、実行委員会で決定します。

②カラオケはご遠慮願います。

◎出店希望者

地域の特産品、特産物を原料にした加工品などの販売等の出店を希望する市内で活動、営業している団体及び個人を募集します。

【実施日】

10月1日(土) ※ぶどうまつり

【注意事項】

①出店料 20,000円

②テント(1張)・机(2脚)・イス(4脚)は用意しますが、燃料・電源・必要な備品等は出店団体で用意ください。

③「出店申請書」を提出してください。申請書は、市のホームページからダウンロード、または、観光交流課に常置してあります。

④希望者多数の場合は、実行委員会で決定します。

⑤イベントにふさわしくないとと思われる団体及び個人の出店はお断りします。

第7回 甲州フルーツマラソン大会 模擬店出店募集!

■日時 10月16日(日)
午前7時30分～午後4時

■注意事項

- ①出店料 40,000円(ただし、市内の団体及び個人は、20,000円)。
- ②テント(1張)、机(2脚)、イス(3脚)は用意します。
※電源は各自でご用意ください。
- ③出店申請書等を提出してください。申請書等は市のホームページからダウンロード、または、観光交流課に常置してあります。
- ④希望者多数の場合は、抽選により決定します。
- ⑤イベントにふさわしくないとと思われる団体及び個人の出店はお断りします。

■申込期間 7月4日(月)～7月22日(金)

◆申し込み・お問い合わせ先

甲州フルーツマラソン大会実行委員会事務局
(観光交流課内)

☎32-5000 FAX32-5174

甲州フルーツマラソン大会公式ホームページ

<http://www.koshu-fruit-marathon.jp/>

甲州市ホームページ

<http://www.city.koshu.yamanashi.jp/>

◎聖火隊本隊先導ランナー

中央公園広場から、柏尾山の鳥居焼きまで聖火隊本隊を先導していただくランナーを募集します。

【実施日】

10月1日(土) ※ぶどうまつり

【注意事項】

- ①募集人員は若干名で、年齢は19歳以上とします。
- ②希望者多数の場合は、実行委員会で決定します。

■全募集の申込締切 7月22日(金)

◆申し込み・お問い合わせ先

甲州市塩山上於管1085・1

第63回甲州市かつぬまぶどうまつり
実行委員会事務局(観光交流課内)

☎32-1000

「わが家のスター」では、元気なお子さんの写真を募集しています。ご両親のコメントを添えて広報担当までお申し込みください。

ひろせ かい
廣瀬 加偉くん (5歳)
あすま
明日真くん (3ヶ月)



あすまくんへ。いろんなことをおしえてあげたり、まもってあげるよ！えほんもたくさんよんであげたいな♪かいより。
父・浩章さん、母・秋野さん
(下於曾)

ちけん あおと
知見 碧柊くん (6ヶ月)



這えば立て 立てば歩めと 毎日が楽しみです。
曾祖父 今沢俊次より。
父・浩樹さん、母・紗弥さん
(上於曾)

ほのめ
矢澤 暖芽ちゃん (4歳)
りょうが
怜芽くん (5ヶ月)



元気で明るい暖芽ちゃん♡そんなお姉ちゃんが大好きな怜芽くん♡とても仲良い姉弟です♪これからも健やかに成長してね♪
父・俊明さん、母・千寿子さん
(西広門田)

講演会「夢の実現」

ほしで あきひこ
星出彰彦 宇宙飛行士

7.29 (金) 13:30~ (開場)
14:00~ (開演)

- 場所 甲州市民文化会館 ホール
- 講師 星出 彰彦氏 (JAXA宇宙飛行士)
- 対象者 宇宙に興味を持つ方どなたでも
- 定員 800名
- 入場料 無料

甲州市民文化会館窓口で整理券を配布します。

◎市内在住の方 7月 5日 (火) ~

◎市外在住の方 7月12日 (火) ~

※受付時間は午前9時~午後5時となります。

※整理券は1人につき3枚までです。

※都合により、講演会が中止になる場合がございます。

◆申し込み・お問い合わせ先
甲州市教育委員会
生涯学習課 社会教育担当 ☎32-5097



(JAXA/NASA提供)

広報こうしゅう

『有料広告』を募集します！

(毎月1日発行 12,000部)

市では、新たな財源確保や地域経済の活性化を図るため、有料広告を募集します。3カ月間を1クールとし、広報こうしゅうへ掲載する有料広告を募集します。

- ◎カラー 3ヵ月：60,000円
- ◎白黒 3ヵ月：30,000円 (カラー、白黒とも最大6ヵ月まで)

市ホームページのバナー広告も随時募集しています。

募集要綱および申込書は、市ホームページをご覧ください。

◆お申し込み・お問合せ
政策秘書課 秘書・広聴広報担当 TEL32-5063
ホームページアドレス <http://www.city.koshu.yamanashi.jp>

行こう！昭和堂。

タガネ 宝飾 時計
OPTICAL JEWELRY WATCH & CLOCK
昭和堂 有
10:00~19:00
水曜 定休
塩山下於曾 1541-1 ☎32-1325
(塩山バイパス通り)

有料広告